

天気予報屋さんをはじめました。 F o r A L P H A S H I O N

このたびは本アプリケーションをダウンロードいただきありがとうございます。

1. 本ソフトの目的

日本国内での天気予報を一定時間ごとに予報気象情報を入手することができるようになります。

収集した予報気象情報はマイドキュメントフォルダ以下にテキスト形式（カンマ区切り）で保存することができます。

表計算ソフトで気象情報を読み込ませることにより、ユーザの責任において気象情報処理が可能となります。

2. 事前に取扱説明書をお読みの上で適切に取り扱っていくことをよろしくお願いします。

Z I P形式にてファイル一式がアーカイブされています。

W i n d o w s 7以降であれば該当ファイルをダブルクリックすることにより展開が開始されると思われます。

途中で確認画面が現れたならば許可のボタンを押下してください。

展開が無事に終了をしたならば必要なファイル一式がフォルダの中にできあがっていることと思います。

「天気予報屋さんをはじめました.exe」をダブルクリックし、起動します。

セキュリティーソフトが通信の許可を求めてきた場合は「許可」のボタンを押下して通信を行えるように設定をしてください。

初期値は「東京都 東京」と設定がされています。

予報気象情報は60分間隔で入手されます。

2. 見本画面による説明です。



見本画面 1

最上部のテキストエリアは予報気象情報の天気概況文について説明が記述されています。

左下はアイコンにより天気予報を表現をしています。

その下段では予報している地区名を表示しています。

右側の上段ではプルダウンメニューより北海道から沖縄までの間で予報気象情報を知りたい都道府県を一カ所だけ選択をします。

急いで予報気象情報を入手したい場合に限り、下段の「気象予報なう」ボタンを1度きり押下するによりプルダウンメニューより指定した地域の予報情報を入手することができます。

「気象情報の保存」にチェックを入れることにより自動で保存処理が実行されます。

「自動更新」にチェックを入れることにより60分間隔で予報気象情報が更新されていきます。

更新間隔の設定変更はできません。

3. 気象予報情報の保存

本ソフトでは将来性を見越し入手済み気象予報情報を表計算ソフトでも応用が可能なように配慮がなされています。

4. 自動更新について

指定した地区を一定間隔で閲覧並びに併せて気象予報情報を入手してきます。

収集した情報はマイドキュメントフォルダ以下へ保存されていきます。

収集した情報は1ヶ月を一つの単位としてまとめられます。

ファイルの拡張子は自動で「.CSV」となります。ユーザの側で変更する設定は存在しません。

更新間隔は相手側へのサーバに対してむやみと負荷を与えないように配慮をしたため、更新間隔は60分単位となっています。

5. 本ソフトウェアは広告付きソフトウェアとします。ユーザの側におかれましては追加の経済負担は生じません。

FAQ

Q. 設定情報ファイルを破壊した場合はどうすればいいのか？

A. マイドキュメントフォルダ以下に保存がされている「天気予報屋さんはじめました」を削除することにより自動再作成されます。

設定されている設定情報はすべて初期値となります。

Q. 特に使用可能ライセンスについては決まりはありませんが、家庭内での使用を想定しております。

家庭内での使用に限り使用可能台数に制限はございません。

Q. マイドキュメントフォルダにたまり続ける予報気象情報ファイルはどうすればよい？

収集した予報気象情報ファイルの扱いにつきましては、原則としてユーザ側の判断にゆだねられます。

ファイルネームの命名規則について。

例：「天気予報屋さんはじめました。20193.csv」

のように、末尾には取得した西暦・月の順で命名されていきます。

Q. 使用しているライブラリは？

マイクロソフト社が提供している、. Net f r a m e w o r k ライブラリー4を必須としています。

インストールがされていなければ各自でインストール作業をお願いいたします。

製作者：ALPHASHION

問い合わせメールアドレス：software@alphashion.info

制作日：2019年3月6日